

補足マニュアル (For MD201/MD202)

Excel 使用時の注意事項



001
2020年5月

92500202

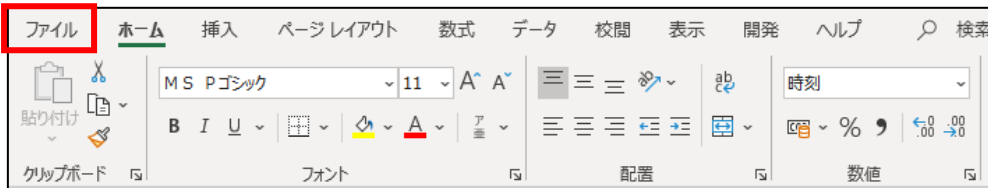
本書に記載する Excel の操作は、本マニュアル作成時の以下の最新バージョンを使用しています。

バージョン 2002 (ビルド 12527.20612)

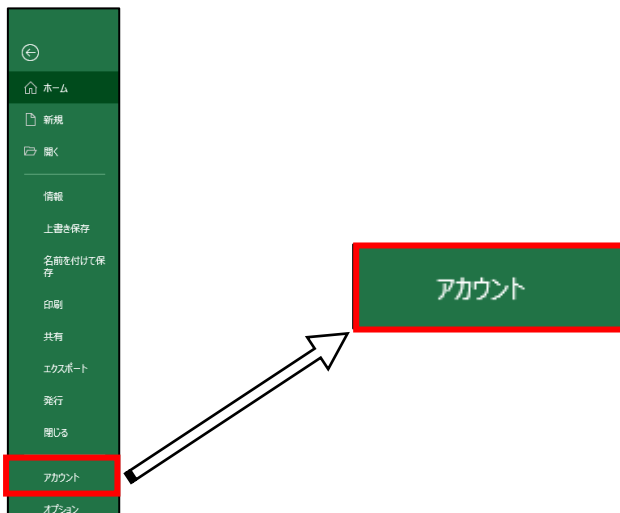
お使いの Excel のバージョンによっては、操作が異なる可能性があるため注意願います。

お使いの Excel のバージョンは次の方法で確認できます。

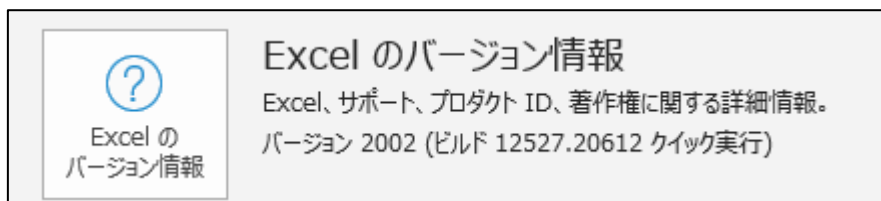
- ① 【ファイル】タブをクリックし、【ファイル】メニューを開きます



- ② 【ファイル】メニューから、【アカウント】タブをクリックします



- ③ Excel のバージョン情報が画面右側に製品情報として表示されます



目 次

1	12桁以上の数値を正常に表示するには(指数表示しない)	4
2	改行コードを含むバーコードデータをひとつのセルに格納するには	7
3	UTF-8 読み取りデータが格納された CSV ファイルを文字化けなしで表示するには	10

1 12桁以上の数値を正常に表示するには(指数表示しない)

csv ファイルをダブルクリックし Excel で表示すると、小数点以下の数値も含め 12 文字以上になる数値、あるいはセル幅を超えセル内に表示しきれない数値は指数表示されます。指数表示するだけのセル幅がなければ「#####」と表示されます。これは Excel の仕様です。

12 桁を超える数値を指数表示せず、そのままの数値あるいは文字列として表示したい場合は次の操作を行ってください。

以降の操作で使用する csv ファイルの内容は以下のとおりです。

```
1234567890, 10 桁
12345678901, 11 桁
123456789012, 12 桁
1234567890123, 13 桁
```

- ① csv ファイルをダブルクリックし Excel で表示します

	A	B	C
1	1.23E+09 10桁		
2	1.23E+10 11桁		
3	1.23E+11 12桁		
4	1.23E+12 13桁		

※12 桁未満の数値(1 行目と 2 行目)も指数表示されていますが、これはデフォルト表示のセル幅が狭いのが原因です

- ② 12 桁以上の数値が設定されている【A 列】を選択します

	A	B	C
1	1.23E+09 10桁		
2	1.23E+10 11桁		
3	1.23E+11 12桁		
4	1.23E+12 13桁		

クリックし【A 列】全体を選択

③ **方法1: 「数値」として表示する**

【ホーム】タブをクリックします(①)

【数値】グループにある「数値の書式」ドロップダウン▼をクリックし(②)、リストから「数値」を選択(③)します

The image illustrates the process of changing the number format in Excel. It shows the 'Home' tab selected, the 'Number' group expanded, and the 'Number' option chosen from the dropdown menu. The resulting spreadsheet shows the numbers in column A displayed in their standard format.

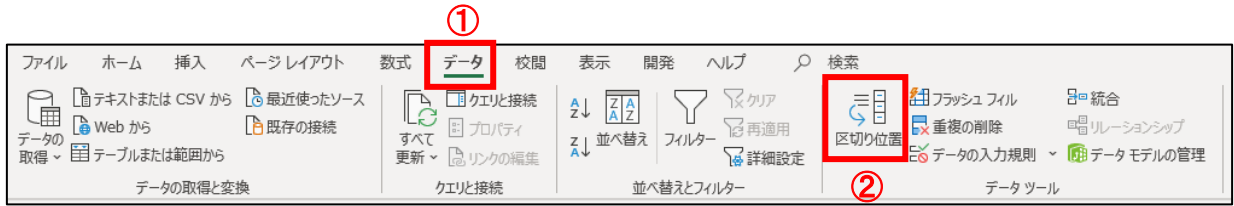
	A	B	C
1	1234567890	10桁	
2	12345678901	11桁	
3	123456789012	12桁	
4	1234567890123	13桁	

指数表示が解除され、数値をそのまま表示します

④ **方法2: 「文字列」として表示する**

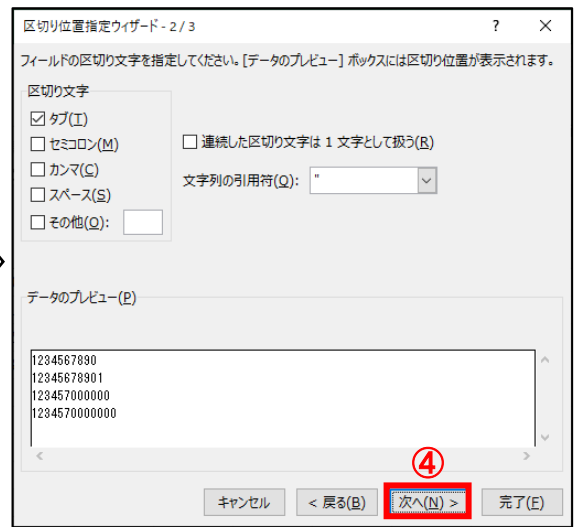
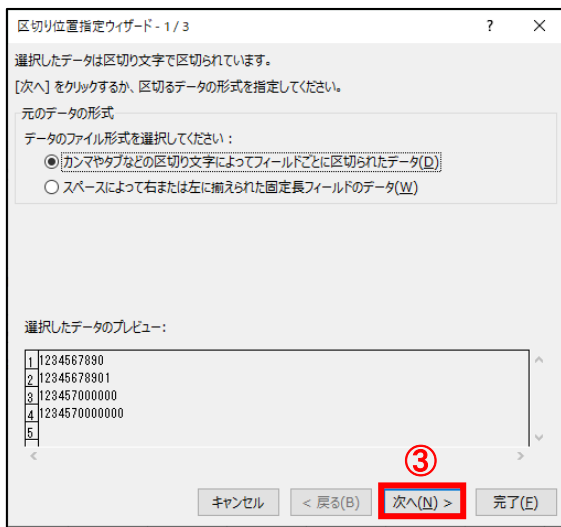
【データ】タブをクリックします(①)

【データツール】グループにある「区切り位置」をクリック(②)します

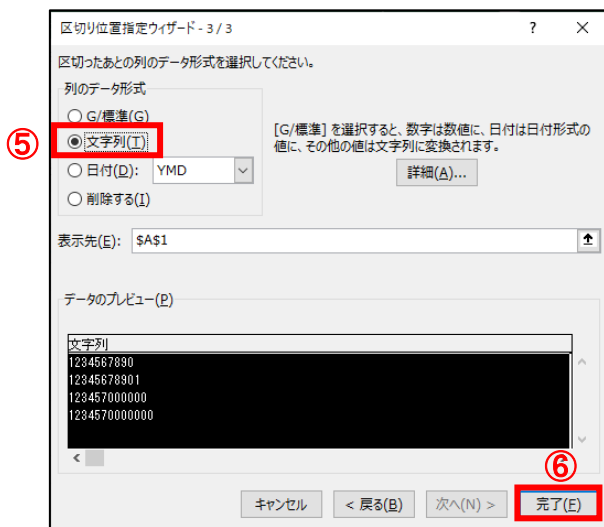


「区切り位置指定ウィザード」が表示されます
【次へ】をクリック(③)します

【次へ】をクリック(④)します



「文字列」を選択(⑤)し、【完了】をクリック(⑥)します



	A	B
1	1234567890	10行
2	12345678901	11行
3	123456789012	12行
4	1234567890123	13行

指数表示が解除され、数値を文字列として表示します

2 改行コードを含むバーコードデータをひとつのセルに格納するには

データ中に改行コードを含む二次元バーコードを読み込んだデータを MD100Manager で csv 出力し、出力した csv ファイルを Excel で開くと、改行コードを含んだバーコードデータが、1個のセルに格納されません。

例えば、4 件のデータをもつ以下の csv ファイルをダブルクリックして Excel で開きます。

1st. , 1 行のデータ	} ※1 件目のデータ
1st.	
2nd. , 2 行のデータ	} ※2 件目のデータ
1st.	
2nd.	} ※3 件目のデータ
3rd. , 3 行のデータ	
1234567890123	
1234567890123	} ※4 件目のデータ
1234567890123, 3 行のデータ	

Excel には以下のように取り込まれます。

※csv ファイルと対比しやすいようにセルを塗りつぶしています

	A	B	
1	1st.	1行のデータ	}
2	1st.		
3	2nd.	2行のデータ	} ※2 件目のデータ→2 行のセルに分割される
4	1st.		
5	2nd.		} ※3 件目のデータ→3 行のセルに分割される
6	3rd.	3行のデータ	
7	1.23457E+12		
8	1.23457E+12		} ※4 件目のデータ→3 行のセルに分割される
9	1.23457E+12	3行のデータ	

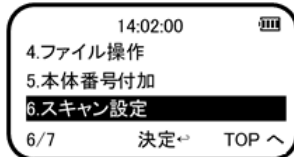
※csv で 2 行のデータ/件は Excel 上 2 行のセルに分割され、csv で 3 行のデータ/件は Excel 上 3 行のセルに分割して表示されます(1 件分のデータが 1 行に表示されません)

◆ 対策方法

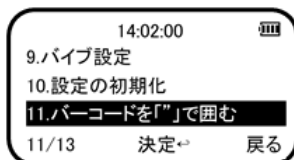
複数行のバーコードデータをひとつのセルに格納するには、バーコード読み取り時にバーコードデータを「”」(ダブルクォート)で囲むことで対応できます。

バーコード本体で次の操作でスキャン設定を行うと、バーコード読み取り時にバーコードデータを「”」(ダブルクォート)で囲むようになります。

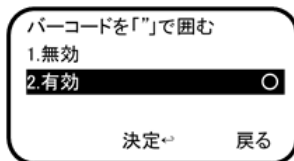
電源オンで表示する先頭メニューから「6. スキャン設定」を選択します



「11. バーコードを「”」で囲む」を選択します



「2. 有効」を選択します



以上で設定は終了です

上記の設定を行い、前ページで使用した csv ファイルのバーコードデータを「”」(ダブルクォート)で囲んで読み込んだサンプルは、次のようになります。

"1st.", 1 行のデータ	}	※1 件目のデータ
"1st.		※2 件目のデータ
2nd.", 2 行のデータ	}	※3 件目のデータ
"1st. 2nd.		※4 件目のデータ
3rd.", 3 行のデータ	}	
"1234567890123		
1234567890123		
1234567890123", 3 行のデータ		

バーコードデータを「”」(ダブルクォート)で囲んだ csv ファイルをダブルクリックして Excel で開きます。
※csv ファイルと対比しやすいようにセルを塗りつぶしています

	A	B	
1	1st.	1行のデータ	
2	1st. 2nd.	2行のデータ	※2 件目のデータ→1 行に表示される
3	1st. 2nd. 3rd.	3行のデータ	※3 件目のデータ→1 行に表示される
4	1234567890123 1234567890123 1234567890123	3行のデータ	※4 件目のデータ→1 行に表示される

※csv で複数行のデータが Excel 上ひとつのセルに格納されます(1 件分のデータが 1 行に表示されま
す)

3 UTF-8 読み取りデータが格納された CSV ファイルを文字化けなしで表示するには

UTF-8 でエンコードされたバーコードを読み込んだデータを MD100Manager で csv 出力し、出力した csv ファイルを Excel で開くと、文字化けして表示されることがあります。

Excel は何も指定がなければ csv ファイルを Shift-JIS として開くのが原因です。

Excel は csv ファイルの先頭に UTF-8 でのエンコードを示す BOM(Byte Order Mark)ヘッダが付加されている場合は、UTF-8 でエンコードされたファイルとして csv ファイルを開きます(文字化けしなくなります)。

UTF-8 でエンコードされたデータを含んだ csv ファイルを、文字化けなしで開くには次の操作を行ってください。

以降の操作で使用する csv ファイルの内容は以下のとおりです(UTF-8 で表示した例です)。

```
1234567890, 11:12:14, 2020/05/29
あああ, 11:15:11, 2020/05/29
いいい, 11:15:18, 2020/05/29
ABCDEFGHIJ, 11:23:31, 2020/05/29
```

- ① csv ファイルをダブルクリックし Excel で表示します(※文字化けの確認)

	A	B	C
1	1234567890	11:12:14	2020/5/29
2	縺ゆ ≠ 縺 · 11:15:11	2020/5/29	
3	縺 · > 縺 · 11:15:18	2020/5/29	
4	ABCDEFGHIJ	11:23:31	2020/5/29

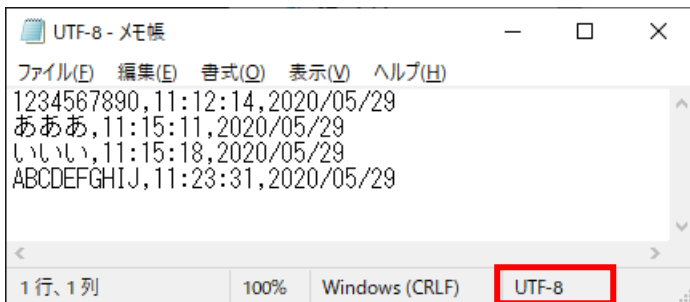
※2 行目(「あああ」)と 3 行目(「いいい」)のデータが文字化けして表示されます(1 行目と 2 行目は半角英数字のため文字化けしません)

- ② csv ファイルに BOM ヘッダを付加します

Windows10 標準アプリの「メモ帳」は、文字コード UTF-8(BOM 付き)でファイルを保存すると BOM ヘッダを付加します(Windows7 の「メモ帳」は文字コード UTF-8 で保存すると必ず BOM を付加します)。

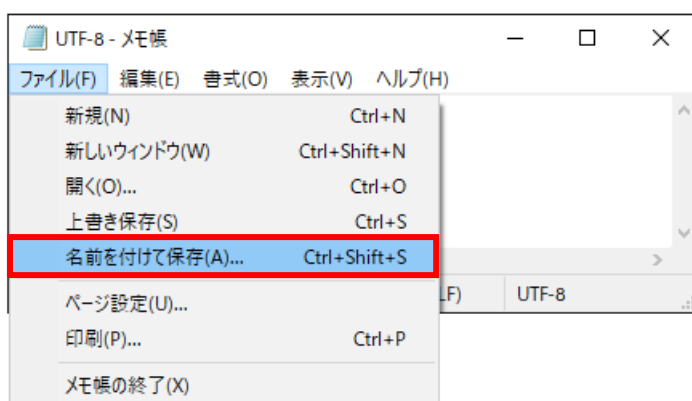
ここでは Windows10 の「メモ帳」を使用し、「①」で使用した csv ファイルを開き、文字コード UTF-8(BOM 付き)で「名前を付けて保存」することで BOM ヘッダを付加した csv ファイルを出力します

「メモ帳」で csv ファイルを開きます

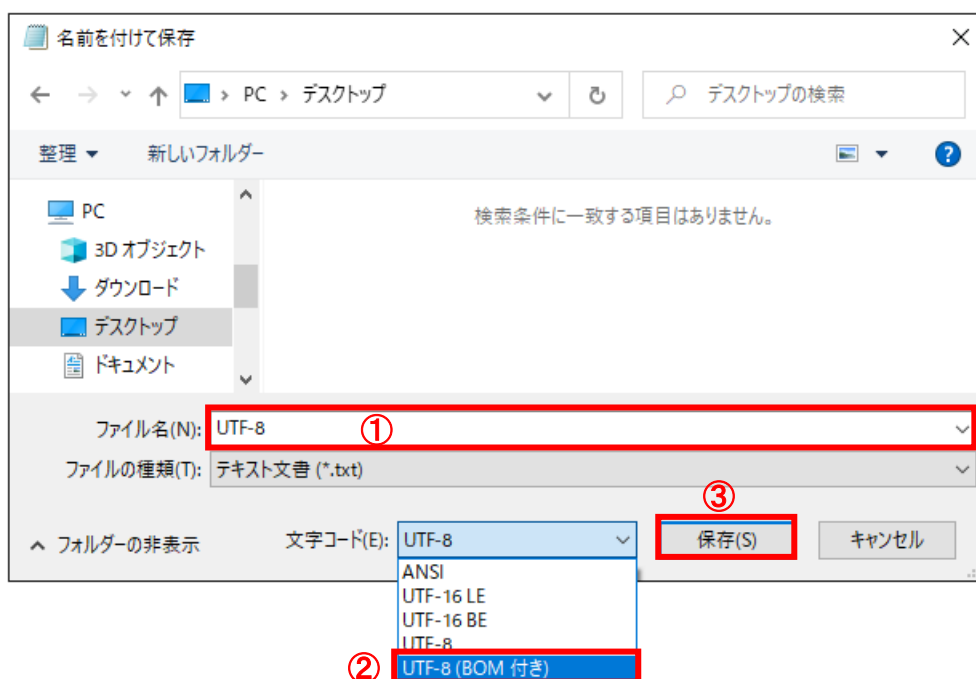


※「メモ帳」は BOM ヘッダが付加されていない csv ファイルであっても自動で「UTF-8」と認識します(上図は「メモ帳」の【表示】メニューにある【ステータスバー】をチェックした状態です)

【ファイル】メニューから【名前を付けて保存】を選択します

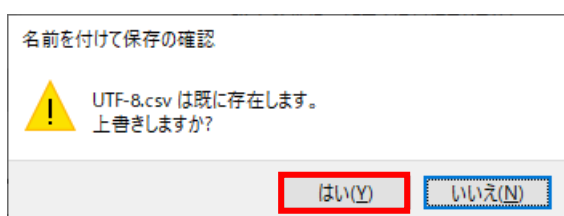


別名保存するときはファイル名欄に新しい名前を入力し①、文字コードから「UTF-8(BOM 付き)」を選択後②、【保存】をクリック③します



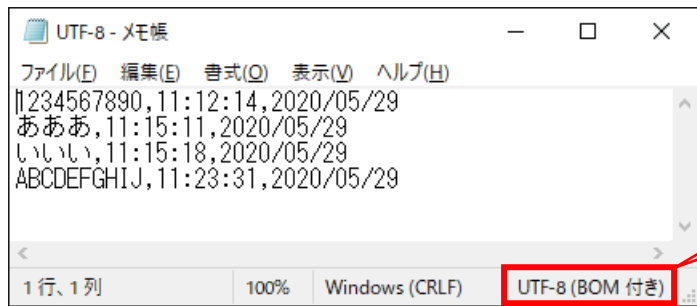
※上書き保存でよければファイル名欄はそのままで構いません

【保存】をクリック後に表示される以下の上書き確認画面で【はい】をクリックすると、上書き保存します



③ BOM ヘッダを付加した csv ファイルを開く(※文字化けしないことの確認)

◆ メモ帳で開く



◆ Excel で開く

	A	B	C
1	1234567890	11:12:14	2020/5/29
2	あああ	11:15:11	2020/5/29
3	いいい	11:15:18	2020/5/29
4	ABCDEFGHIJ	11:23:31	2020/5/29

文字化けしなくなった